

教科	社会科	履修学年	第2学年	指導時間	105 単位時間	担当者	
使用教科書	新しい社会地理 (東京書籍) 新しい社会歴史 (東京書籍)	補助教材					
目標	広い視野に立って、社会に対する関心を深め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的・平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。						
評価の観点	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての 知識・理解			
趣旨	社会的な事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとする。	社会的な事象から課題を見出し、社会的な事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	社会的な事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	社会的な事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。			
評価資料	ワークシート 授業中の発言 新聞づくり レポート 定期テスト	ワークシート 授業中の発言 新聞づくり レポート 定期テスト	ワークシート 授業中の発言 新聞づくり レポート 定期テスト	ワークシート 授業中の発言 新聞づくり レポート 定期テスト			

指導計画

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
4	第2章世界から見た日本のすがた 2節世界から見た日本の人口	3	第2章世界から見た日本のすがた 2節世界から見た日本の人口 1,世界の人口分布と変化 2,日本の人口と人口問題 3,日本の過疎・過密問題 3節世界から見た日本の資源・エネルギーと産業 1,世界の資源・エネルギーと産業 2,日本の資源・エネルギーと環境問題 3,日本の農林水産業 4,日本の工業 5,日本の商業・サービス業 4節世界と日本の結びつき 1,グローバル化が進む世界 2,日本各地を結ぶ交通・通信 中間試験	社会的な事象への関心・意欲・態度	・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結び付き」の四つの観点について、世界的視野から日本を一つの地域として見た日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色をとらえる学習に関心をもち、意欲的に取り組んでいる。
				社会的な思考・判断・表現	・世界と日本、日本の国内の地域間を比較し関連付けて考察するとともに、学習活動を通して明らかになった日本の地域的特色について、簡単な説明文にまとめるなど適切に表現している。
	3節世界から見た日本の資源・エネルギーと産業	6		資料活用の技能	・日本の地域的特色を、世界的視野や日本全体の視野から学習するために、地球儀や各種地図・統計資料などの役割を理解して収集し、適切に選択するとともに、地図や図表などにまとめたり発表したりしている。
	4節世界と日本の結びつき 中間テスト	2		社会的な事象についての知識・理解	・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結び付き」の四つの観点について、世界的視野から日本の地域的特色と、日本全体の視野から見た国内の諸地域的特色を理解するとともに、地域的特色を明らかにする視点や方法を身につけている。
	言語活動 ・グラフや表などを正確に読み取り、資料内容を記述する活動(ワークシート、小テストなど) ・グループを使って、社会的な事象について、根拠を持って自分たちの考えや意見をまとめ、論述する活動(発表、ディベートなど)	1			
6	第4章近世の日本 1節ヨーロッパ人との出会いと全国統一	8	第4章近世の日本 1節ヨーロッパ人との出会いと全国統一 1,キリスト教世界とルネサンス 2,ヨーロッパと外の世界 3,ヨーロッパ人との出会い 4,織田信長・豊臣秀吉による統一事業 5,兵農分離と朝鮮侵略 6,桃山文化 2節江戸幕府の成立と鎖国 1,江戸幕府の成立と支配のしくみ 2,さまざまな身分とくらし 3,貿易の振興から鎖国へ 4,鎖国下の対外関係 3節産業の発達と幕府政治の動き 1,産業や諸産業の発達 2,都市の繁栄と元禄文化 3,享保の改革と社会の変化 4,田沼の政治と寛政の改革 5,新しい学問と化政文化 6,外国船の出現と天保の改革 期末試験	社会的な事象への関心・意欲・態度	・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に対する関心を高め、意欲的に追究している。 ・武將や豪商の文化、町人文化や各地方の生活文化に対する関心を高め、今日に残る文化的遺産を尊重している。 ・政治・経済・外交・文化などの面で活躍した近世の人物に対する関心を高め、その障害や業績を調べている。
				社会的な思考・判断・表現	・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開から課題を見だし、世界の動きと時代の特色とを関連させて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 ・産業・交通の著しい発達と政治や文化の動きとの関連を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
	2節江戸幕府の成立と鎖国	5		資料活用の技能	・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開に関する図表、史料、年表、歴史地図などの様々な資料を収集するとともに、情報を適切に選択して読み取ったり、図表にまとめたりしている。 ・近世の日本の動きを政治・経済・外交・文化などの項目に分けて、情報を適切に選択して年表などにまとめている。
	3節産業の発達と幕府政治の動き	10		社会的な事象についての知識・理解	・近世社会の成立とその後の社会の変化や政治の展開を、日本の歴史とかかわる世界の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ・産業・交通が著しく発達し、町人文化や各地方の生活文化が形成されていった様子を、身近な地域の歴史的事象との関連で理解し、その知識を身に付けている。
	言語活動 ・社会的な事象の意味、意義を歴史的資料、地図、年表などから読み取り、基礎的・基本的な用語を用いて記述する活動(ワークシート、小テスト、ノートなど) ・社会的な事象について、根拠をもって自分たちの考えや意見をまとめ、論述する活動(発表、ディベートなど)	1 学期小計 (35)			
9	第3章日本の諸地域 1節九州地方	5	第3章日本の諸地域 1節九州地方～環境問題・環境保全に向き合う人々のくらし～ ①②九州地方をながめて ③④⑤環境問題・環境保全に向き合う人々のくらし 2節中国・四国地方～都市と農村の変化と人々のくらし～ ①②中国・四国地方をながめて ③④⑤都市と農村の変化と人々のくらし 3節近畿地方～歴史の中で形づくられてきた人々のくらし～ ①②近畿地方をながめて ③④⑤歴史の中で形づくられてきた人々のくらし 4節中部地方～活かなる産業を支える人々のくらし～ ①②中部地方をながめて ③④⑤活かなる産業を支える人々のくらし 5節関東地方～さまざまな地域と結びつく人々のくらし～ ①②関東地方の生活の舞台 ③④⑤さまざまな地域と結びつく人々のくらし 6節東北地方～伝統的な生活や文化を守り育てる人々のくらし～ ①②東北地方をながめて ③④⑤伝統的な生活や文化を守り育てる人々のくらし 7節北海道地方～雄大な自然とともに生きる人々のくらし～ ①②北海道地方をながめて ③④⑤雄大な自然とともに生きる人々のくらし 8節日本をながめて 期末試験	社会的な事象への関心・意欲・態度	・日本の諸地域の地域的特色に対する関心が高まっている。 ・各地方の追究テーマについて、各地方の概念で得た知識などを活用して仮説を立て、意欲的に追究し、とらえようとしている。
				社会的な思考・判断・表現	・日本の諸地域の地域的特色を、ある地理的事象を中核として、他の地理的事象と関連付けるなど多面的・多角的に考察している。 ・地域的特色を学習し考察した過程や結果を、適切に図表化したり自分の言葉で表現したりしている。
	2節中国・四国地方 中間テスト	5		資料活用の技能	・日本の諸地域の地域的特色をとらえるため、地図や統計、写真など、様々な資料を収集している。 ・収集した資料から、日本の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。
	3節近畿地方	5			
	4節中部地方	5			
5節関東地方	5				
6節東北地方 期末テスト	1				

月	単元又は題材	時数	学習内容	評価の観点及び評価規準	
12	7節北海道地方	5	言語活動 ・グラフや表などを正確に読み取り、資料内容を記述する活動（ワークシート、小テストなど） ・グループを使って、社会的事象について、根拠を持って自分たちの考えや意見をまとめ、論述する活動（発表、ディベートなど）	社会的事象についての知識・理解	・日本の諸地域の自然環境や人口、産業などの特色などについて概観し、その結果として基礎的・基本的な知識を身につけている。 ・それぞれの追究テーマを基に、日本の諸地域の地域の特色や地域の課題を理解し、その知識を身につけている。
	8節日本をながめて	1			
	第4章身近な地域の調査	7	第4章 身近な地域の調査 1. 身近な地域を見直す 2. テーマを決めて調査計画を立てよう 3. 野外観察や聞き取り調査をしよう 4. 資料を調べて調査を深めよう 5. 調査結果をまとめよう 6. 発表会をして地域の将来像を考えよう 中間試験	社会的事象への関心・意欲・態度	・身近な地域の調査に対する関心を高め、意欲的に情報を収集し、調査に取り組んでいる。 ・身近な地域の特色や課題に関心をもち、よりよい地域の発展について考え、努力しようとしている。
	中間テスト	1		社会的な思考・判断・表現	・身近な地域の地理的事象を、位置や空間的な広がりとのかかわりからとらえて、適切な調査テーマを設定している。 ・調査テーマについて、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとのかかわりから、多面的・多角的に考察している。
		2 学期小計 (45)	言語活動 ・複数の社会的事象について、原因との間の因果関係や理由との間の目的手段関連のような事象間の関連を、概念を用いることで記述、発表する活動（ワークシート、新聞作成、ノート、発表など）	社会的事象についての知識・理解	・縮尺、方位、等高線、地図記号など地形図の読み取り方を身につけている。 ・読図、野外観察、聞き取り調査、文献調査などの地域調査の方法やまとめ方を理解し、その知識を身につけている。
1	第5章開国と近代日本の歩み 第1節欧米の進出と日本の開国	7	第5章開国と近代日本の歩み 第1節欧米の進出と日本の開国 1. 近代革命の時代 2. 産業革命と欧米諸国 3. ヨーロッパのアジア侵略 4. 開国と不平等条約 5. 江戸幕府の滅亡	社会的事象への関心・意欲・態度	・欧米諸国の近代革命や産業革命に関心をもち、近代国家の成立やその後のアジア諸国への大きな影響について、意欲的に追究している。 ・開国の影響から江戸幕府滅亡までの過程について関心を高め、意欲的に追究している。
				社会的な思考・判断・表現	・ヨーロッパのアジア侵略について、その理由や背景を多面的・多角的に考察して公正に判断し、適切に表現している。 ・開国の影響とその後の幕府政治の推移について、政治面・経済面・社会面から考察して公正に判断し、適正に表現している。
				資料活用の技能	・欧米諸国とアジア諸国の動きについて、資料を収集して読み取ったり、年表にまとめたりしている。 ・開国の影響とその後の幕府政治の推移について、追究し考察した家庭や結果をまとめている。
				社会的事象についての知識・理解	・欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出して行った経過を理解し、その知識を身につけている。 ・開国から江戸幕府滅亡までの経緯を理解し、その知識を身につけている。
2	第2節明治維新	8	第2節明治維新 1. 新政府の成立 2. 明治維新の三大改革 3. 世界とつながる日本と文明開化 4. 岩倉使節団と殖産興業 5. 近代的な国際関係 6. 自由民権運動の高まり 7. 立憲制国家の成立	社会的事象への関心・意欲・態度	・近代日本が形成されていく過程に関心を高め、欧米諸国とのかかわりに留意しながら、意欲的に追究している。
			第3節日清・日露戦争と近代産業	9	第3節日清・日露戦争と近代産業 1. 欧米列強の侵略と条約改正 2. 日清戦争 3. 日露戦争 4. 韓国と中国 5. 産業革命の進展 6. 近代文化の形成 学年末試験
3	学年末テスト	1		資料活用の技能	・近代日本が成立していく過程を、図版、史料、年表、歴史地図などの近代に関する様々な資料を活用し、追究した結果を読み取ったりまとめたりしている。
				社会的事象についての知識・理解	・開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を、欧米諸国の歴史を背景に理解し、その知識を身につけている。 ・日本の国際的地位が向上したことや近代産業の発展したこと、近代文化が形成されたことを理解し、その知識を身につけている。
先生からのアドバイス	学習の進め方 (学習方法、学習形態等)		・学習指導要領における基礎・基本事項を繰り返し指導を行う。(地理的思考力 歴史的思考力 公民的資質の育成) ・単元ごとに適切に課題を設け、新聞やレポートを作成させ表現力育成をすすめる。 ・授業を通して、思考・判断したことを聞く人にわかりやすく説明できる言語力を養う。 ・日頃から新聞記事やニュースなどの時事問題に関心をもち、それに対する意見が持てるように指導をすすめる。 ・小単元ごとに評価活動(小テストなど)を実施して学力の定着をはかる。 ・ノート指導を適宜行い、情報収集・活用能力の育成に努める。		
	学習上の留意点 受講上の注意		・学習規律を大切に、聞きあい話し合える学習集団作りに努める。 ・学力の向上の視点から忘れ物に対してはきびしく指導をすすめる。 ・思考力・判断力育成の視点から誤答も大切に。		